

2026.03

ヘルメット取付資料

B+COM

7X EVO ×

Arai

TX-STRADA



取付前の準備

1. 取付準備

SHOEI ヘルメット「TX-STRADA」の B+COM 取付方法をご紹介します。



2. B+COM の準備

B+COM1 キット分を用意します。



3. パッド取外し

スピーカーベースを取外してから、ヘルメットの左側システムパッドを取外します。

※内装の脱着に関しては、ヘルメットの取扱説明書をご参照ください。



スピーカーの取付

※画像は RX-7X のものですが同様の方法で進めてください。

4. スピーカーベース

「TOUR-CROSS V」のインカムホールには「スピーカーベース」が貼付けられており、B+COM のスピーカー用面ファスナー（ループ）を使用せずに取付けできます。



5. 調整パッドの活用

耳とスピーカーの隙間を調整することで、本来の音量、音質が得られます。

※調整パッドをご使用してください。
耳が押されて痛い場合は外してください。



6. 右側スピーカー取付け

スピーカーを取付けます。イヤースペースにそのまま合わせるのではなく、**できる限りヘルメット前方、チンストラップの根元側へ寄せるのがコツ**です。



7. スピーカー配線 1

ヘルメット後方のホックを外し、配線を帽体と内装のすき間に通します。



8. スピーカー配線 2

ヘルメット後方左側のホックを外し、配線をホックの内側に通します。



9. 左側スピーカー取付け

スピーカーの左耳側を取付けます。イヤースペースにそのまま合わせるのではなく、**できる限りヘルメット前方、チンストラップの根元側へ寄せるのがコツ**です。



ワイヤーマイクの取付け

※画像は RX-7X のものですが同様の方法で進めてください。

10. マイクスポンジ貼付け

ヘルメットのチンガードの裏側、風の影響を受けやすいエアダクトを避けた左上よりの位置にワイヤーマイクスポンジを貼付けます。

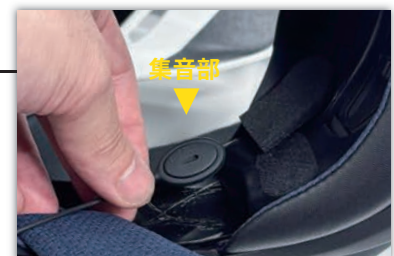
※貼付ける前に、パーツクリーナーなどで貼付箇所を脱脂してください。



11. ワイヤーマイク取付け

チークパッド内側のスナップを避けて配線しながら、ワイヤーマイクを取付けます。

※穴の空いている方が、集音する方向です。口元に向けてご使用ください。



マグネットクレードルの組立て

EX1. マグネットクレードルの用意

マグネットクレードル本体、保護ラバー、ワイヤークリップを用意します。
組立にはドライバー No.1 が必要になります。



EX2. ワイヤークリップホルダー取外し 1

ドライバーを使用して、ワイヤークリップホルダーを固定しているネジを 1 箇所外します。



EX3. ワイヤークリップホルダー取外し 2

ワイヤークリップホルダーを取外します。



EX4. 保護ラバー貼付け

貼付部の角に合わせながら、保護ラバーの大小をそれぞれ貼付けます。
※貼付ける前に、パーツクリーナーなどで貼付箇所を脱脂してください。



EX5. ワイヤークリップ差込み 1

ワイヤークリップの①側をヘルメット後方側の穴に差込みます。



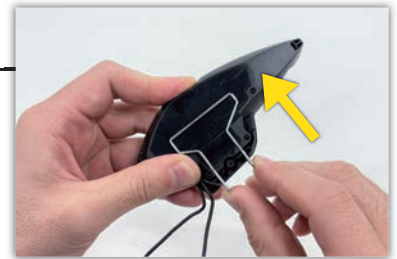
EX6. ワイヤークリップ差込み 2

ワイヤークリップの②側をヘルメット前方側の穴に差込みます。



EX7. ワイヤークリップ差込み 3

①と②を同時に押込みます。



EX8. ワイヤークリップホルダー固定

ワイヤークリップホルダーを取付け、ネジを締めて固定します。



EX9. 完成

ワイヤークリップホルダーが浮いていたり、ガタつきがないか確認してください。



マグネットクレードルの取付け

※画像は Z-8 のものですが同様の方法で進めてください。

12. マグネットクレードル取付け 1

帽体の左側面に、ベースプレートを斜めに差込みます。



13. マグネットクレードル取付け 2

差込んだベースプレートを回転させ、ヘルメットのフチに当たるまで奥に押し込みます。

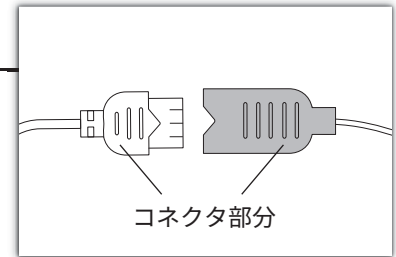


配線方法

14. スピーカー、マイクコネクタの接続

コネクタの端子の凹凸の向きに注意して、それぞれのスピーカー、マイクコネクタを接続します。

※コネクタを接続する際はケーブルを引っ張らず、コネクタ部分を持って抜き差しを行ってください。



15. システムパッド取付け

左側システムパッド→スピーカーベースの順番で取付けます。各配線に負担がかからないよう、ゆとりを持った取回しで収納してください。



本体の取付け

16. 本体ユニットの取付け

本体を取付けて完成です。

※取付け後は本体とクレードルの間に隙間やがたつきがないことを確認して下さい。

